

トリップアドバイザーのリリース文（和訳）

2016年10月11日

トリップアドバイザー

旅行業界に於ける野生生物保護基準の向上宣言（コミットメント）を発表。

―業界をリードする教育や予約方針の変更について―

旅行者が捕獲された野生動物や絶滅危惧種に触れることのできるアトラクションは何百とありますが、トリップアドバイザーやピアター（現地体験型ツアーを提供するトリップアドバイザーのグループ会社）を通しての予約は今後中止といたします。

世界観光機関（UNWTO）での決議を受け、トリップアドバイザーは旅行者向けの野生生物に関わる旅行に関する教育・啓蒙に着手しました。同事業は大手の適格貿易メンバー、保護活動機関、学者、旅行業関係者、野生動物保護活動グループと共に行うもので、動物園・水族館協会（ABTA）、旅行業協会、世界野生生物保護機関、動物の倫理的扱いを求める人々の会（PETA）、オックスフォード大学野生生物保護リサーチグループ（WildCRU）、国際持続可能な旅行機構（Sustainable Travel International）、正しい道基金（TreadRight Foundation）、国際象を考える会、アジア象援助会、太平洋アジア観光協会（PATA）、世界動物保護機関なども含まれております。

NEEDHAM, Mass., Oct. 11, 2016 (GLOBE NEWSWIRE) -

世界で最も大きな旅行サイトであるトリップアドバイザーは、本日、旅行業界で先駆けとなる宣言を行いました。動物に関わるアトラクションのチケット販売の方針変更や、旅行者向けの教育ポータルサイト（野生、敷地内、絶滅危惧種動物についての取扱いの基準や、旅行者との相互作用、あるいは野生生物の保護に与える影響を取り扱う）の立ち上げに関する宣言です。

トリップアドバイザーとピアターは旅行者が敷地内にて、野生、あるいは絶滅危惧種と触れ合える特定のアトラクションのチケット販売を中止いたします。これは象に乗る、トラに触れる、イルカと泳ぐツアーなどだけではありません。トリップアドバイザーでの予約は即時停止としました。教育ポータルサイトの立ち上げと予約方針変更は2017年の早い時期に行う予定です。

トリップアドバイザー掲載の全ての動物アトラクションにリンクさせた教育ポータルサイトでは、動物保護活動例などの情報にリンクし、旅行者がより知見あるレビューを掲載できるようになります。保護活動に与える影響やアトラクションの利点などにも触れることで、旅行者が十分な情報を得たうえでの予約が可能になり、動物保護や旅行産業における動物取扱いの基準を改善できると考えております。

また、この教育ポータルサイトでは数多くの専門家の視点が紹介されています。持続可能な旅行産業、動物愛護、野生動物の保護、動物学、海洋生物学などの専門家です。当初の提携先として動物園や水族館の貿易認定機関協会や、保護機関である世界野生生物保護機関、アジア象協力会と国際象を考える会、旅行業専門家BTA―旅行業協会、太平洋アジア観光協会（PATA）、国際持続可能な旅行機構、正しい道基金、オックスフォード大学野生生物保護リサーチグループ（WildCRU）のような動物保護の学術的リーダー、動物の倫理的扱いを求める人々の会（PETA）や世界動物保護機関のような動物保護団体があります。

トリップアドバイザーの社長兼CEOのStephen Kauferは、「トリップアドバイザーの新予約方針と啓発活動は、動物の健康と安全基準の向上を促進し、特に保護規制の少ない市場で効果があるだろうと思います。今後、動物、絶滅危惧種の保護に積極的な旅行産業のリーダー的な観光地（ディステーション）やアトラクションを応援していきたいのです。また、ご協力いただいた貿易会社や学会、非営利団体には感謝申し上げます。おかげで企業として一歩進むことができました。」、続けて「トリップアドバイザーの旅行業におけるリーダーシップは、動物保護に関する考えを数多くの人々に教育、啓発することができると考えています。その結果、旅行者がそのアトラクションに行くべきかどうか、そして、より価値あるレビューを書くことに繋がります。」と述べております。

予約方針

ピアターはここ数年にわたり、動物保護の基準を予約方針に反映する事に努力してきました。捕獲された野生動物が血を流し、傷つけられる、殺されるなどのアトラクションの予約については、掲載しないよう

にしています。この当初の基準に加え、動物に関する次の追加・変更をトリップアドバイザーとビーターの予約方針に行いました。

特定のアトラクションに関して、チケットの販売、予約による収益を得る事を取りやめます。特定とは、捕獲された野生動物や絶滅危惧種、象に乗れる、「～と泳ごう」プログラム（イルカに触る、乗る等）、捕獲された野生動物に触れるなどのアトラクションに限ったものではありません。

今回の予約方針にあったアトラクションとして証明できるものであっても、本日現在の決定により、影響がある場合、トリップアドバイザーとビーターは新予約方針に従いアトラクションを除外するなど、チケット再構築について、申し立てを行います。

予約方針の免責

- 家畜。例えば、乗馬、ウサギなどを園内で子供が触る場合
- 水族館などで教育的観点から、専門家の元で子供が生き物に触る事
- 動物園や野生動物の管理者の元で餌付けを行う事
- 観光でボランティアを行う、“ボランツーリズム”として絶滅危惧種保護動物園、水族館、保護区などで動物との接触がある場合

レビューと教育、啓蒙記事の掲載

長年に渡り、事実上、闘牛や捕らわれた野生動物、絶滅危惧種などの血が流れる商業的アトラクションのレビュー掲載を禁止してきましたし、今後もこの方向性には変わりはありません。

トリップアドバイザーは、旅行者の書くレビュー内容の如何を問わず、旅行者は旅行経験を書く権利を有するという理念を引き続き維持してまいります。何百万もの旅行者による3億8千万以上のレビュー投稿が、品質のチェック、顧客サービスや社会問題、特に旅行産業での動物の取り扱いなどの社会的問題に貢献できると確信しております。

以上により、全ての動物アトラクションはトリップアドバイザーのガイドラインに沿っているかどうかは、旅行者によって再評価され、ネット上で確認することができるようになります。

2017年初期には、トリップアドバイザー上での全ての動物アトラクションは「PAW」アイコンで教育、啓蒙サイトにリンクされます。米国基盤の動物園水族館協会、動物の倫理的扱いを求める人々の会（PETA）、世界動物保護機関、ABTAのような野生動物の問題を研究してきた機構、国際持続可能な旅行産業機構、太平洋アジア観光協会（PATA）などだ。野生動物保護についての意見、研究、本質などオックスフォード大学、世界野生動物保護機関、動物の倫理的扱いを求める人々の会（PETA）の指導協力で実現しました。

【コメント】

Nikki White, Director of Destinations and Sustainability, ABTA – The Travel Association

トリップアドバイザーが動物保護の重要性について顧客に教育、啓蒙活動することを模索していることについてとてもうれしく思う。当協会（ABTA）の動物保護ガイドは、その啓蒙活動の重要な部分で役に立ち、掲載するに相応しいアトラクションを考える際に必要な、企業や個人の参考資料として利用できるだろう。

Kris Vehrs, Interim CEO and President of the Association of Zoos & Aquariums (AZA)

動物園水族館協会は動物保護の向上の為に日夜努力を続けています。当協会の232会員は、動物ケアや保護に関するリーダーである。常に変化するAZAの認証プロセスや、数多くの連邦機関や州の機関によって定められた規則に従い活動している。会員の多くはトリップアドバイザーの賞を何年にも渡り受賞している。トリップアドバイザーのコミュニティーをAZAの認証プログラムで教育、啓蒙できることを誇りに思っている。同プログラムは動物の健康、保護、動物と人間のよりよい生き方、財政基盤の健全化、保護活動と教育制度に特化しており、家族全員で楽しめるものだ。

Professor David Macdonald, founding Director of Oxford University's WildCRU

動物アトラクションでの動物の福祉は、動物全体から見れば、氷山の一角ではあるが、その水面下に広がる巨大な氷山のように、野生動物保護に対し大きな影響力を持っている。これは広範囲にわたって影響が及ぶ手本となるだろう。我々のトリップアドバイザー教育ポータルサイトへの貢献は、何百万もの旅行者の野生動物保護についての選択に影響を与える。WildCRUが旅行産業の保護基準の向上に繋がる牽引役になれば、この上ないことだ。我々はプロの研究者として、研究結果をトリップアドバイザーと連携し、この教育ポータルサイトを通じて、人々の行動がどう変えていくのか楽しみだ。

上記に加えて、**Dr. Tom Moorhouse, a senior researcher at WildCRU**

旅行者の選択や野生動物保護への影響の研究が、野生動物からのより大きな恩恵を旅行業界に与える力強いツールになると信じてやまない。

PETA Executive Vice President Tracy Reiman

商業ベースで動物をエンターテインメントや遊びの道具として扱うアトラクションのチケット販売をやめることは、トリップアドバイザーが動物の虐待やエンターテインメントに対する先例を作ったことになる。トリップアドバイザーが業界に先駆けこの教育ポータルサイトを応援していくことを PETA は楽しみにしている。

下記はトリップアドバイザーの野生動物保護の旅行産業での向上を目指す新しい試みについてのコメント。
Taleb Rifai Secretary-General, UNWTO

世界観光機関は重要な賛助会員であるトリップアドバイザーが動物保護の分野で社会的責任、協力を強化することを歓迎する。

Wes Sechrest, Chief Scientist and CEO of Global Wildlife Conservation

トリップアドバイザーには、特定敷地内での野生動物との接触がある旅行アトラクションの基準を向上させるには、一つ一つ段階をおって行動するようにとアドバイスした。これにより野生の安全な観察を売りにする観光地や、国立公園や正規の保護センター、現場での保護活動に努力する動物園関連の施設などにも旅行者が行くようになる。これ以上絶滅危惧種をつくらないように人々が野生と繋がり、感動させたい。

Geoff Bolan, CEO of Sustainable Travel International

現在、旅行者にとって責任のある選択をするのは極めて難しいと言える。持続可能な旅行機構は、旅行者に非日常的な体験の為の選択だけではなく、地球上の他の人々の生活、繊細な環境や野生動物を向上させる為の選択もしてほしいと願っている。トリップアドバイザーとのコラボレーションによって、消費者教育、商業従事者教育、政府への情報提供により、旅行者の選択がいかに長期に渡ってこのような繊細なディスティネーションを保護していくうえで役立つかを示していきたい。

Dr. Joshua Plotnik, Executive Director and Founder, Think Elephants International

世界中で野生動物が直面している最大の問題は一般社会の関与の欠落である。国際象を考える会は動物の行動、保護を科学的な知見を駆使し社会に啓蒙活動をしている。バランスのとれた、文化的に配慮した手段によって、旅行産業での動物の倫理的な扱いを促進する。トリップアドバイザーの行動で、サイトを見る人と、旅行者になる人々が各方面の専門家の多様な意見を確認できるという、この新しい取り組みに関わる事ができて喜んでいる。旅行者はエコで野生動物に関わる旅にしようと数多くの選択をするが、その前にもっと多くの情報を集めることに熱心だ。トリップアドバイザーは国際象を考える会や他の機関が人々にこのような重要な決定を促すのに有用な珍しいプラットフォームを提供してくれている。一翼を担える事にワクワクしている。

Linda Reifschneider, President, Asian Elephant Support

AES はトリップアドバイザーとの共同事業をうれしく思っている。というのもアジアの人の手で育てている象を取り巻く環境という最も重要な課題に我々は正面から向き合っているからだ。責任ある旅行産業によって人と象との絆を深めていく、そして人々の理解も深まっていくはずだ。

Brett Tollman, Chief Executive, The Travel Corporation and Founder of TreadRight Foundation

正しい道基金は、トリップアドバイザーの旅行産業での野生動物保護基準を向上させる為の新しいコミットメントに拍手を送りたい。業界のコミュニティとして足並みをそろえていく事が大切だ。業界一体となって正しい方向に舵をきり、世界をより良い方向に変えられる大きな可能性があるのとらえるべきだ。

Dr. Mario Hardy, CEO, Pacific Asia Travel Association (PATA)

PATA 全員を代表して、今回のトリップアドバイザーの旅行産業の責任ある進展を推進させる、勇気ある行動を称賛したい。PATA の戦略的パートナーとしてトリップアドバイザーとは強固な関係にあるが、野生動物保護のアジア太平洋地域での利害関係者、会員への啓蒙となる教育ポータルサイトを推し進める事で更に関係を強化したい。アジア太平洋地域では欠落している責任ある旅行産業には、責任ある野生動物ツーリズムのより詳しい情報は、欠かせないものである。世界一の旅行サイトがこの問題で先頭に立っているのは誠に心強いことだ。

Steve McIvor, CEO, World Animal Protection

世界動物保護機関はトリップアドバイザーとの連携によって、何百万もの旅行者に野生動物のエンターテインメントがもたらす残忍さを啓発する一翼を担えることをとても楽しみにしている。これは野生動物ツーリズムの残忍さに終止符を打つ為の大きな一歩で、旅行産業全体に大きな影響を与える事を願っている。

旅行産業で動物が直面している残忍さについての知識、経験、見地などを共有していきたい。旅行者が先ず野生動物への虐待を知れば、他の選択肢を選ぶだろう。

トリップアドバイザーについて

*世界で最も大きな旅行サイト。旅行者が全ての旅の潜在的可能性について存分に語ることができるサイト。何百万もの旅行者からの投稿、アドバイスや、数ある旅の選択肢や最適価格を調べられる予約ツールなどを提供している。トリップアドバイザーブランドのサイトで世界一大きな旅行コミュニティーを構成し、**月平均3億5千万人に閲覧している。

6千6百万に及ぶ宿泊、レストラン、アトラクションのレビューは3億8千5百に達し、世界48市場にて運営されている。

トリップアドバイザーでより良い知識でより良い予約、そしてより良い旅を。

トリップアドバイザー（ナスダック：TRIP）は子会社関連会社を含め、他に24の旅行メディアブランドを運営している。

www.airfarewatchdog.com, www.bookingbuddy.com, www.citymaps.com, www.cruise critic.com, www.familyvacationcritic.com, www.flipkey.com, www.thefork.com (including www.lafourchette.com, www.ehtenedor.com, www.iens.nl and www.dimmi.com.au), www.gateguru.com, www.holidaylettings.co.uk, www.holidaywatchdog.com, www.housetrip.com, www.independenttraveler.com, www.jetsetter.com, www.niumba.com, www.onetime.com, www.oyster.com, www.seatguru.com, www.smartertravel.com, www.tingo.com, www.travelpod.com, www.tripbod.com, www.vacationhomerentals.com, www.viator.com, and www.virtualtourist.com.

*出典：comScore Media Metrix for TripAdvisor Sites, worldwide、2016年5月より

**出典：TripAdvisor log files, Q2 2016より

メディア連絡先：

U.S. Press Office
TripAdvisor, Inc.
uspr@tripadvisor.com
+1 781 800 5568

U.K. Press Office
TripAdvisor, Inc.
ukpressooffice@tripadvisor.com
+44 (0) 20 3194 2237